

事故が発生した際、証拠として残し活用するためのものであります。

現在、国内外の様々なメーカーから多種多様な製品が発売されており、価格も安く数千元で購入できるものもあります。しかし、こうした製品の中には、耐久性の低いものもごまかす。こうした製品に一律に補助していくのは難しい部分があり、現時点では、ドライブレコーダーの設置に対する補助は考えておりませんが、今後研究していきたいと思えます。

問 スクールロイヤール制度の導入について

Q1 学校現場では、いじめや虐待などの対応や不登校の問題、あるいは保護者とのトラブルなど様々な事件・事案が発生します。その時に、学校の職員だけで対応することが難しい場面が増えていることから、法律の見地から弁護士がアドバイザーとする、スクールロイヤール制度を取り入れる自治体が増えていくと聞く。

現在、町内の小中学校において保護者とのトラブルや、児童生徒への対応に弁護士のアドバイザーが必要な事案があるとは思っていないが、学校や教育委員会の初期対応が適切でなかったために、その後問題視された報

道を目にしている。

今後、八百津町においても、第三者で法的知識に熟知したスクールロイヤールの活躍する場面があり得ると考える。また、弁護士の後ろ盾があることで常に安心して臨めることは、働き方改革の一つとも言える。以上のことから、八百津町においてもスクールロイヤール制度を導入してはどうか伺う。

答 (堀部教育長)

スクールロイヤール制度とは、学校で起こるいじめや事故、不登校、トラブルなどについて、法的観点から、弁護士が助言する制度であります。文部科学省においても、スクールロイヤール制度活用の推進に力を入れようとしています。

現在、八百津町におきましては、学校で発生する諸問題において、専門家の支援を仰ぐ事案は発生しておりません。しかし、今後、学校の教員だけでは、対応が困難なことが発生し、専門家に支援をいただく必要性も出てくるのが予想されます。八百津町には、顧問弁護士がいますので、学校が困るような事案については、相談できる体制をとっています。

今後、国の動向に注視しながら、スクールロイヤール制度の導入について検討していきたいと考えています。



八百津中学校

林 俊宏 議員

問 八百津排水路(雨水管渠新設工事)について

Q1 八百津排水路第2期工事の内容と近隣の町民・企業に対しての通行対策について伺う。

答 (藤掛建設課長)

内容は、八百津のスーパーマーケット西友の前から旧中央公民館に向けて推進工法で工事を行います。推進工法とは道路の地下約10mのところを、モグラのように横方向に掘り進めて工事を行います。掘った後から直径1.2mのコンクリート管を油圧ジャッキで押し込んでいきます。旧中央公民館まで到達しましたら、次は大仙寺の方向へ向かっ

て同じように推進工法で施工します。推進工法で施工する延長は320m程です。大仙寺前の約50mは道路を上から掘ってコンクリート製の四角い箱型の製品を布設していきます。今回の工事は大仙寺の山門付近まで施工します。工期は令和3年2月下旬を予定しております。

交通規制につきましては、推進工法で工事を行うところは原則、規制は行いません。ただし、一時的な片側交互通行を行うことがあります。また、大仙寺付近の道路を掘削して工事を行うところは、片側交互通行で工事を行う予定ですが、やむを得ず一時的に通行止めを行う可能性もあります。その時は沿線の住宅や企業の方と十分相談したうえで、交通規制の時間を最小限にするなど、出来るだけご迷惑を掛けない方法を検討していきます。

問 各工事による入札基準について

Q1 水道工事において、地元業者育成のため、工事共同企業体として対応は出来ないのか伺う。

答 (各務水道環境課長)

水道工事の入札は、八百津町建設工事等請負業者選定要領に基づいて行っています。工事設計金額により、一般競争入札及び指名競争入札で行っていますが、一般競争入札につきましては、入札にのみならず、一条件としておりますが、指名競争入札におきましては、地元業者の入札参加の機会に配慮して、参加条件を緩和しております。

水道工事における本管工事は、下水道工事が完了したことにより工事件数も減少しており、昨年度が5件、今年度が4件の工事件数で、地元業者の育成も難しい状況ではあります。地元業者においては水道工事の実績を上げていただき、大きな工事にも参加できるようになっていたければと考えています。

また、緊急の漏水工事などには、地元業者になるべく工事協力をさせていただけるように配慮しております。

建設工事共同企業体(JV)につきましましては、水道工事においても八百津町特定建設工事共



国道418号水道工事現場